

## 平成28年度国立情報学研究所公募型共同研究募集要項

### 1. 趣旨

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所（以下「本研究所」という。）は、大学共同利用機関として、わが国の情報学分野での「未来価値創成（学術創成）」を目指し、国内外の大学及び研究機関の研究者との共同研究を推進しています。

近年、情報学には、人と社会に今までにない実価値を生み出す新しい理論、方法論、応用展開（未来価値）が求められています。そのような研究のさらなる推進と他の学問分野との連携による研究の開拓を進めるため、本研究所内外の研究者から共同研究を募集します。

### 2. 募集する共同研究の種類

いずれの共同研究の場合も、応募前に必ず本研究所の教員と調整を行い本研究所の教員を共同研究者として含むこととし、内1名を連絡担当教員（当該共同研究の指導・助言等を行います。）として指定して下さい。本研究所の教員情報については、「国立情報学研究所教員情報（別紙1）」をご覧ください。なお、本研究所の教員が申請者の場合は省略できることとします。

また、本共同研究は、各研究テーマに対し単年度での実施を基本とします。本共同研究でスタートアップを切って頂き、以降のステップアップは競争的資金（科学研究費助成事業、各省庁実施の競争的資金、その他財団等の助成金等）の獲得をご検討ください。

本研究所が募集する共同研究は以下の3種類です。

#### （1）戦略研究公募型【戦略】（年間150万円以下）

情報学の動向を踏まえて本研究所が戦略的に設定した研究課題を選択のうえ、具体的な研究テーマを自由に設定して下さい。研究課題については、「戦略研究課題一覧（別紙2）」をご覧ください。

#### （2）研究企画会合公募型【会合】（年間80万円以下）

下記の少なくとも一方を満たす研究テーマを自由に設定し、会合（交流会、議論、実習、打合せ等）を実施して下さい。

- 異分野と情報学との連携
- 情報学同士の連携強化

会合は、原則として、国立情報学研究所 軽井沢国際高等セミナーハウス（後述参照）にて実施することとします。複数回行う場合は、最低1回は軽井沢国際高等セミナーハウスにて実施して下さい。また、共同研究者5名以上で実施することとします。

なお、幅広い検討を行う観点から、類似する研究テーマを合同で採択し、会合を実施して頂くことがあります。

※研究テーマにつきましては、情報学研究の枠組に拘らず設定して下さい。申請書（様式1）「2. 研究・会合実施方法等」欄に、どのような点で情報学との連携を希望するか平易に記入して下さい。

**軽井沢国際高等セミナーハウス**

本研究所の初代所長である猪瀬博氏の寄附を基に、閑静な軽井沢の地に設立された、学際的で国際的な討論と思索の場です。定員46名のセミナー室と10名が宿泊できる部屋があります。（追加ベッドにより15名まで宿泊可能）

他の共同研究等の会合実施場所としても是非ご活用下さい。

住所：長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字長倉往還南原1052-471

URL：<http://www.nii.ac.jp/about/seminar-house/>

**(3) 自由提案公募型（年間100万円以下）**

申請者が研究テーマを自由に設定し、実施して下さい。

3. 応募資格

① 国内の民間企業等に所属する研究者

② 国内の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者

※「研究者」には、企業・大学等の職員、大学院生も含まれます。ただし、大学院生（社会人学生は除く）、海外機関に所属する方は申請者にはなれませんので、共同研究者として参画して下さい。

4. 研究期間

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

5. 申請方法

「平成28年度国立情報学研究所共同研究企画申請書（様式1）」を、別添記入要領を参照のうえ作成し、所属長（又は部局長）の承認・押印後に提出して下さい。

なお、申請書の作成にあたっては、事前に本研究所の教員と研究内容、方法等に関して十分に打合せして下さい。（担当教員が不明な方は「15. 担当連絡先」にご相談下さい。）

※申請書に記載した個人情報等は本共同研究の管理に係る業務でのみ利用します。

ただし、個人を識別できない状態に加工した統計資料等に利用することがあります。

6. 申請書の提出方法

申請書は「15. 担当連絡先」へ押印済みの原本（カラー）1部を郵送のうえ、電子データ（Wordファイル）をお送り下さい。

7. 申請書の提出期限

平成27年12月14日（月）（電子データ：必着、郵送：消印有効）

## 8. 選考方法及び選考結果の通知

本研究所運営会議の審議を経て所長が決定します。選考にあたって、ヒアリングを実施する場合があります。ヒアリングに係る旅費は支給されません。選考は平成28年3月までに行い、選考結果を申請者及び申請者の所属長宛に通知します。なお、申請書は返還しませんのでご了承下さい。

## 9. 所要経費

共同研究費の使用は、**旅費、学会参加に係る経費、論文投稿料等の3点に限定します。**これは、共同研究者との連携強化、研究成果及び情報収集の充実に重点を置くためです。

※複数の共同研究経費や他の競争的資金を合算しての使用はできません。

※研究経費の管理及び執行は、本研究所の連絡担当教員が行います。

## 10. 研究成果の取扱

共同研究の実施に伴い生じた知的財産権については、原則として共有とし、貢献度に応じて持分を決めます。詳細は、特許等の出願（外国に対する出願を含む）に先立ち共同出願契約にて取決めを行います。

### 11. 研究成果報告

共同研究終了後の平成29年6月23日（金）までに、「平成28年度国立情報学研究所共同研究成果報告書（様式2）」を「15. 担当連絡先」に電子データ（Wordファイル）にて提出して下さい。提出された報告内容は、本研究所のWebページ及び年報に掲載するほか、広報誌等にも掲載することがあります。

### 12. 研究成果の論文及び外部発表

研究成果を本研究所以外に発表する場合は、30日前までに本研究所の同意を得て、本研究所との共同研究によるものであることを論文等内に明示して下さい。発表内容は、申請書（様式1）「申請者研究業績」と同形式で「15. 担当連絡先」まで提出して下さい。

### 13. 秘密保持義務

共同研究の実施に伴い生じた研究成果及び研究所から開示を受け又は知り得た情報については、既に自己が保有していた又は既に公知となった情報、開示を受け又は知得した後に自己の責めによらず公知となった情報、本研究所から同意を得た情報を除き共同研究終了後2年間秘密を保持しなければなりません。

なお、より詳細な取り決めが必要な場合は、別途協議します。

### 14. その他

申請書に記載した内容の一部に誤りがある場合、また、共同研究者としての協調性を欠く場合には、採択の決定後といえども本研究所の判断により、当該共同研究を中止または共同研究者の受入を中止することがありますので、あらかじめご了承下さい。

## 1 5. 担当連絡先

本共同研究の詳細についての問合せ、申請書の提出、研究成果論文・発表内容の連絡、報告書の提出は下記の連絡先へお願いいたします。

### 【連絡先】

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

国立情報学研究所 総務部 企画課 社会連携推進室 連携支援チーム 公募担当

TEL : 03-4212-2170      e-mail : kyoudou@nii.ac.jp

募集要項及び申請書等の様式は、本研究所Webページからダウンロードできます。

URL : <http://www.nii.ac.jp/research/collaboration/koubo>

## 国立情報学研究所教員情報

研究所の教員は情報学プリンシプル研究系、アーキテクチャ科学研究系、コンテンツ科学研究系、情報社会相関研究系のいずれかに属しています。

各教員の研究内容の詳細については、研究者紹介のウェブサイト(<http://www.nii.ac.jp/faculty/>)をご確認下さい。

### 【情報学プリンシプル研究系 18名】

	研究者名	専門分野	e-mail
		研究者紹介 URL	ドメインはいずれも @nii.ac.jp
1	井上 克巳 教授	知能情報学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/inoue_katsumi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/inoue_katsumi/</a>	Inoue
2	宇野 毅明 教授	数理計画、離散アルゴリズム、データ構造、組合せ最適化 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/uno_takeaki/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/uno_takeaki/</a> 【研究紹介映像あり】	uno
3	河原林 健一 教授 (ビッグデータ数理国際研究センター長)	離散数学におけるグラフ彩色問題、グラフ構造理論とアルゴリズム、ネットワークフローとパス問題 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kawarabayashi_kenichi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kawarabayashi_kenichi/</a> 【研究紹介映像あり】	k_keniti
4	佐藤 健 教授 (研究主幹)	人工知能基礎 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/satoh_ken/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/satoh_ken/</a>	ksatoh
5	武田 英明 教授 (学術コンテンツサービス研究開発センター長)	人工知能、設計学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/takeda_hideaki/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/takeda_hideaki/</a>	takeda
6	龍田 真 教授	理論計算機科学、数理論理学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/tatsuta_makoto/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/tatsuta_makoto/</a>	tatsuta
7	根本 香絵 教授 (量子情報国際研究センター長)	量子情報・計算、量子力学基礎論、量子光学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/nemoto_kae/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/nemoto_kae/</a>	nemoto
8	速水 謙 教授	数値解析、数理工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/hayami_ken/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/hayami_ken/</a>	hayami
9	藤山 秋佐夫 教授	分子生物学、実験・情報ゲノム科学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/fujiyama_asao/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/fujiyama_asao/</a>	afujiyam
10	市瀬龍太郎 准教授	情報工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/ichise_ryutaro/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/ichise_ryutaro/</a>	ichise
11	稲邑 哲也 准教授	ヒューマン・ロボット・インタラクション、確率的情報処理、行動認識、対話学習 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/inamura_tetsunari/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/inamura_tetsunari/</a> 【研究紹介映像あり】	inamura
12	宇都宮 聖子 准教授	光半導体を用いた量子シミュレーション、光半導体の量子物性 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/utsunomiya_shoko/">http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/utsunomiya_shoko/</a>	shoko

13	小野 順貴 准教授	信号処理、パターン認識、マイクロフォンアレイによる音源定位・音源分離、音声・音楽信号の分析・加工、音楽情報検索 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/ono_nobutaka/	onono
14	金沢 誠 准教授	数理言語学、論理学、意味論 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kanazawa_makoto/	kanazawa
15	松本 啓史 准教授	量子統計推測、量子情報、量子計算、情報幾何、学習理論 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/matsumoto_keiji/	keiji
16	吉田 悠一 准教授	性質検査、準線形時間アルゴリズム、制約充足問題、近似アルゴリズム http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/yoshida_yuichi/	yyoshida
17	秋葉 拓哉 助教	離散アルゴリズム、データ構造、大規模データ処理 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/akiba_takuya/	takiba
18	小林 亮太 助教	データマイニング、計算論的神経科学、機械学習 http://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kobayashi_ryota/	r-koba

### 【アーキテクチャ科学研究系 20名】

	研究者名	専門分野	e-mail
		研究者紹介 URL	ドメインはいずれも @nii.ac.jp
1	漆谷 重雄 教授 (研究主幹、学術基盤推進部長、学術ネットワーク研究開発センター長)	ネットワークアーキテクチャ ハイエンドネットワークシステム http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/urushidani_shigeo/	urushi
2	本位田 真一 教授 (副所長、先端ソフトウェア学・国際研究センター長)	エージェント技術、ソフトウェア工学、ユビキタスコンピューティング http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/honiden_shinichi/	honiden
3	合田 憲人 教授 (クラウド基盤研究開発センター長)	並列計算、グリッドコンピューティング、スケジューリング http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/aida_kento/	aida
4	計 宇生 教授	情報通信工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/ji_yusheng/	kei
5	胡 振江 教授	プログラミング言語、ソフトウェア工学、並列プログラミング http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/hu_zhenjiang/ 【研究紹介映像あり】	hu
6	五島 正裕 教授	コンピュータ アーキテクチャ、デジタル回路技術 http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/goshima_masahiro/	goshima
7	佐藤 一郎 教授 (所長補佐)	分散システム、プログラミング言語、ネットワーク http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/satoh_ichiro/	ichiro
8	高倉 弘喜 教授	サイバーセキュリティ、ネットワーク http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/takakura_hiroki/	takakura
9	中島 震 教授	分散ソフトウェア工学 http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/nakajima_shin/	nkjm

10	橋爪 宏達 教授	システム工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/hashizume_hiromichi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/hashizume_hiromichi/</a>	has
11	米田 友洋 教授 (研究主幹)	非同期式システム、リアルタイムシステムの設計・検証 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/yoneda_tomohiro/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/yoneda_tomohiro/</a>	yoneda
12	阿部 俊二 准教授 (先端 ICT センター長)	情報通信 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/abe_shunji/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/abe_shunji/</a>	abe
13	栗本 崇 准教授	通信ネットワークアーキテクチャ、システムアーキテクチャ <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kurimoto_takashi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kurimoto_takashi/</a>	tkurimoto
14	鯉淵 道紘 准教授	相互結合網/オンチップインタコネクト/ネットワークオンチップ/並列処理/システムエリアネットワーク/PC クラスタ/デッドロックフリールーティング/計算機アーキテクチャ <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/koibuchi_michihiro/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/koibuchi_michihiro/</a> 【研究紹介映像あり】	koibuchi
15	鄭 顕志 准教授	分散コンピューティング、ソフトウェア工学、ネットワーク <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/tei_kenji/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/tei_kenji/</a>	tei
16	福田 健介 准教授	コンピュータネットワーク、時系列解析、ネットワーク科学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/fukuda_kensuke/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/fukuda_kensuke/</a>	kensuke
17	吉岡 信和 准教授	エージェント指向ソフトウェア工学、エージェントアーキテクチャ、セキュリティソフトウェア工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/yoshioka_nobukazu/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/yoshioka_nobukazu/</a>	nobukazu
18	坂本 一憲 助教	ソフトウェア工学、プログラミング言語、プログラミング教育 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sakamoto_kazunori/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sakamoto_kazunori/</a>	exkazuu
19	対馬 かなえ 助教	プログラミング言語 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/tsushima_kanae/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/tsushima_kanae/</a>	k_tsushima
20	日高 宗一郎 助教	情報工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/hidaka_soichiro/">http://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/hidaka_soichiro/</a>	hidaka

### 【コンテンツ科学研究系 29名】

	研究者名	専門分野	e-mail
		研究者紹介 URL	ドメインはいずれも @nii.ac.jp
1	安達 淳 教授 (副所長、サイバーフィジカル情報学国際研究センター長)	情報工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/adachi_jun/">http://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/adachi_jun/</a>	adachi
2	相澤 彰子 教授 (所長補佐、知識コンテンツ科学研究センター長)	情報工学、知識工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/aizawa_akiko/">http://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/aizawa_akiko/</a>	aizawa
3	越前 功 教授	メディアセキュリティ、メディア情報処理、情報ハイディング <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/echizen_isao/">http://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/echizen_isao/</a>	iechizen
4	大山 敬三 教授 (データセット共同利用研究開発センター長)	情報システム、情報検索、Web 情報処理 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/oyama_keizo/">http://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/oyama_keizo/</a>	oyama

5	佐藤 いまり 教授	コンピュータビジョン、コンピュータグラフィックス、イメージ・ベースド・モデリング・レンダリング、複合現実感 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/sato_imari/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/sato_imari/</a>	imarik
6	佐藤 真一 教授 (研究主幹)	情報学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/satoh_shinichi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/satoh_shinichi/</a>	satoh
7	杉本 晃宏 教授	コンピュータビジョン、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、アルゴリズム、類似画像検索 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/sugimoto_akihiro/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/sugimoto_akihiro/</a>	sugimoto
8	高須 淳宏 教授	データ工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/takasu_atsuhiko/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/takasu_atsuhiko/</a>	takasu
9	高野 明彦 教授	並列連想計算方式の研究連想に基づく情報空間との対話技術の研究 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/takano_akihiro/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/takano_akihiro/</a>	aki
10	プレディングー ヘルムト 教授	擬人化キャラクタ、マルチメディア、マルチモーダルプレゼンテーションシステム、生理的相互システム <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/prendinger_helmut/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/prendinger_helmut/</a>	helmut
11	山田 誠二 教授	人工知能、WWW での情報収集、対話的知能ロボット <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yamada_seiji/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yamada_seiji/</a>	seiji
12	相原 健郎 准教授	情報工学 (ヒューマン・コンピュータ・インタラクション) <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/aihara_kenro/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/aihara_kenro/</a>	kenro.aihara
13	アンドレス フレデリック 准教授	分散マルチメディアデータベースシステム、セマンティック管理システム <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/andres_frederic/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/andres_frederic/</a>	andres
14	石川 冬樹 准教授	サービス指向コンピューティング、ソフトウェア工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/ishikawa_fuyuki/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/ishikawa_fuyuki/</a>	f-ishikawa
15	大向 一輝 准教授 (図書室長)	セマンティック Web、情報・知識共有、コミュニティ支援 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/omukai_ikki/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/omukai_ikki/</a>	i2k
16	片山 紀生 准教授	計算機科学、情報工学 (データベースシステム) <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/katayama_norio/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/katayama_norio/</a>	katayama
17	北本 朝展 准教授	画像解析、画像データベース、パターン認識、データマイニング、メタオインフォマティクス、コンピュータグラフィックス <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kitamoto_asanobu/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kitamoto_asanobu/</a>	kitamoto
18	児玉 和也 准教授	情報工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kodama_kazuya/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kodama_kazuya/</a>	kazuya
19	チョン ジーン 准教授	電子工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/cheung_gene/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/cheung_gene/</a>	cheung
20	坊農 真弓 准教授	社会言語科学、会話情報学、手話学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/bono_mayumi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/bono_mayumi/</a> 【研究紹介映像あり】	bono
21	宮尾 祐介 准教授	自然言語処理、計算言語学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/miyao_yusuke/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/miyao_yusuke/</a>	yusuke
22	山岸 順一 准教授	音声情報処理、音声インタラクション、音声を利用した福祉情報工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yamagishi_junichi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yamagishi_junichi/</a>	jyamagis
23	山地 一禎 准教授	学術コンテンツのメタデータ化と共有に関する研究、学術コミュニティ形成プラットフォームに関する研究 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yamaji_kazutsuna/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yamaji_kazutsuna/</a> 【研究紹介映像あり】	yamaji



24	レイ ユイ デン 准教授	情報学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/le_duydinh/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/le_duydinh/</a>	ledduy
25	加藤 弘之 助教	データ工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kato_hiroyuki/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/kato_hiroyuki/</a>	kato
26	高山 健志 助教	コンピュータグラフィクス、ユーザインタフェース <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/takayama_kenshi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/takayama_kenshi/</a>	takayama
27	鄭 銀強 助教	情報学、知覚情報処理、コンピュータビジョン <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/zheng_yinqiang/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/zheng_yinqiang/</a>	yqzheng
28	孟 洋 助教	情報工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/mo_hiroshi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/mo_hiroshi/</a>	mo
29	ユ イ 助教	マルチメディアコンテンツ解析、マルチメディアサービス、マルチメディアデータマイニング <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yu_yi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/dgital_content/yu_yi/</a>	yyiu

【情報社会相関研究系 11名】

	研究者名	専門分野	e-mail ドメインはいずれも @nii.ac.jp
		研究者紹介 URL	
1	曾根原 登教授 (研究主幹)	情報流通システム工学、デジタルメディア工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/sonehara_noboru/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/sonehara_noboru/</a>	sonehara
2	新井 紀子 教授 (社会共有知研究センター長)	遠隔教育(システム開発、教育)、数理論理学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/arai_noriko/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/arai_noriko/</a>	arai
3	神門 典子 教授	情報アクセス(情報検索システムの評価、テキスト構造・ジャンル・リンクの分析、インタラクティブ情報アクセスシステム、文化遺産アーカイブの教育目的応用、情報活用支援システム、言語横断アクセス) <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/kando_noriko/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/kando_noriko/</a>	kando
4	岡田 仁志 准教授	電子通貨体制論 地域情報政策論 電子商取引論 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/okada_hitoshi/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/okada_hitoshi/</a> 【研究紹介映像あり】。	okada
5	後藤田 洋伸 准教授	コンピュータ・グラフィックス <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/gotoda_hironobu/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/gotoda_hironobu/</a>	gotoda
6	小林 哲郎 准教授	政治コミュニケーション、政治心理学、メディアコミュニケーション <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/kobayashi_tetsuro/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/kobayashi_tetsuro/</a>	k-tetsu
7	孫 媛 准教授	ビブリオメトリックス、心理統計学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/sun_yuan/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/sun_yuan/</a>	yuan
8	西澤 正己 准教授	計量情報学、情報システム学、宇宙線物理学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/nishizawa_masaki/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/nishizawa_masaki/</a>	nisizawa
9	水野 貴之 准教授	ビックデータによる経済・社会現象の統計分析とモデル構築、予測と制御 / 経済物理学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/mizuno_takayuki/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/mizuno_takayuki/</a>	mizuno
10	植木 浩一郎 助教	ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/ueki_kouichirou/">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/ueki_kouichirou/</a>	ueki
11	古川 雅子 助教	教育工学 <a href="http://www.nii.ac.jp/faculty/society/furukawa_masako">http://www.nii.ac.jp/faculty/society/furukawa_masako</a>	furukawa

## 戦略研究課題一覧

### 1. 次世代学術情報基盤のための革新的アーキテクチャ

オープンサイエンス、大規模オンライン教育、サイバーセキュリティ、クラウドコンピューティング、超高速・高機能ネットワークなどの大学等の研究・教育環境の高度化に寄与するような分野において、簡便な実験データ格納サービスや、データドリブンサイバーセキュリティ等新たなサービスの提案、サービスの迅速・柔軟な提供や経済化等に関する提案を募集する。

### 2. SINET上での新サービス・新基盤機能の実験・検証

平成28年度より運用を開始する次期SINETでは、全国的に100ギガ回線が整備され、全国の大学等のネットワーク環境が格段に向上する。この高度な環境を活用した全国的な連携の枠組みの加速・支援に資する、超高速ネットワークを活用した新しいアプリケーションやサービスの実験・検証に関する提案を募集する。例えば、大規模データ転送等の特徴とするコンテンツ共有基盤機能の実験・検証、SINETを活用した先端クラウド機能や先端セキュリティ機能の実験・検証等があげられる。

### 3. オリンピックのためのIT

オリンピック／パラリンピックを開催するうえで、ITによる支援は不可欠であると同時に、東京という巨大都市の社会インフラに寄与する新しい技術が必要となる。例えば(1)パラリンピックでは障がい者が選手・観客として参加するが、障がいの種類／程度は多様であり、それに応じた支援（例えばナビゲーション他）は必ずしも技術が進んでおらず、その技術確立は、開催中はもちろん、高齢者や障害者が不自由なく住める高度ユニバーサル社会の実現に寄与する。(2)オリンピック時に課題となり得る様々なテーマ（人流・物流の高次化ならびにリアルタイム最適化、サイバーならびにノンサイバーセキュリティ、日本文化の発信の高度化、超高密度wifi、都市の新しいあり方等）に対し、先進的なITを駆使することによるソリューションの提案を募集する。

### 4. ITによる食と健康

「未病」を始め、食と健康に対する関心は増大している。また、高齢化社会の到来にともない、健康と美しさを保ちながら、生きがいを感じて充実した日々を送るためのサポートがますます求められている。このような社会の要望に答え、一人一人の人生の充実さや生活の質(Quality of Life)を高めるためのITソリューションを期待する。具体的には、仕事、美容、健康、生きがい、障がい支援技術などの実現を目指す。

### 5. 教育とIT

学校現場へのタブレット端末の導入からMOOCsまで、教育におけるIT利活用をめぐる話題に事欠かない。いま、新しい教育・学習の提供と支援方法の研究が求められている。eLearningの著しい進展は、教育や学習活動が生成する多様な学習・教育データの大量の蓄積を可能にしている。そうしたデータを利用した個々の学習者の学習状態・進捗の診断、動機付けや学習方略の把握、個別化されたフィードバックの提供手法は、非常に重要な研究テーマである。本課題は、教育・学習ビッグデータにもとづいて個々人に最適化した学習支援を実現するための革新的技術の研究開発を目標とする。この問題には、教育学、心理学、教育工学、数理統計学、情報学などからの多面的アプローチが必要である。

### 6. 実世界理解のためのフィールドインタラクション

情報技術の発展が目覚ましい昨今、それらの技術を医療、福祉、介護、教育といった様々なフィールドに適用する試みが行われている。本戦略課題では、フィールドインタラクション研究に関する(1)技術適用型アプローチと(2)ニーズ調査型アプローチおよび(1)と(2)の融合型アプ

ローチを採る研究プロジェクトを募る。特徴として、フィールドの当事者らの声を聞いて情報技術の開発に生かすというニーズ調査型の方向性を重視し、情報技術とフィールドの融合による持続可能な社会の構築を目指す研究開発を行う。

## 7. 自然言語処理と人工知能技術を融合する手法

最近、自然言語処理を用いて問題解決をするシステム研究が出現しているが、より高度な問題解決（説明生成、仮説生成、要約、動向予測）を可能にするために、自然言語処理と人工知能技術（推論・情報検索・機械学習）を融合する研究テーマを募集する。また、これらを実際に、様々な文書（生命科学、物質科学、脳神経科学等の科学論文や法律分野における判例、金融、経済等のビジネス文書等）に対して応用するような研究開発も募集する。

## 8. ダイナミック環境下における推論・学習

センサーデータ、ネットワークサービス、オンライン情報等では、情報は常に変化しており、ある時点でのデータから構築したデータモデルをそのまま使い続けることができず、情報の変化自体を説明できるモデリングが必要となる。本戦略課題では、このようなダイナミック環境の下で、時間経過による情報の変化や状態の遷移を予測したり、変化の背後に存在するダイナミクスを学習するための基礎研究、さらにこれらの技術を用いた応用研究を広く募集する。

## 9. 地方自治体と大学群と企業の協働による社会データ駆動型政策科学

情報空間と実世界が連携、あるいは統合した「サイバー・フィジカル融合社会（Cyber-Physical Integrated Society）」の問題解決を行うため、実世界の現況や人と社会の活動を情報世界に映し出し、地域の観光・交通・宿泊・食事など人流・物流経済活性化、医療・健康や高齢者介護・見守り、地震・台風・集中豪雨など自然災害へのリスク対策など、科学的根拠データに基づいて地域の政策決定・意思決定を支援するソーシャル・ビッグデータ駆動情報システム科学の創成、及び大学と地方自治体や企業の協働による研究実用化を通し、データ駆動型情報システムをデザインできる人材育成に挑戦する。

## 10. ICT基盤を変革させるアーキテクチャ

ICT基盤を進化させる技術の研究開発は、学术界全体にとって極めて重要である。IoT時代のネットワークやセキュリティ、エッジコンピューティング等の未来を支える革新的なアーキテクチャや制御技術等の研究開発等を対象とする。

「平成28年度国立情報学研究所共同研究企画申請書（様式1）」の記入要領  
申請書内に記載されたグレーの文字は削除し、黒字にて読みやすい文字サイズで記載して下さい。

### 【申請者】

- (1) 所属機関等名称は、学部等や所属部局等まで記入して下さい。
- (2) 年齢は、平成28年4月1日現在で記入して下さい。

### 【1. 研究課題および研究テーマ】

- (1) 公募型の区分（「戦略」、「会合」、「自由」）から1つ選び■で示して下さい。
- (2) 「戦略」の場合は「戦略研究課題一覧（別紙2）」から研究課題を選び記入して下さい。
- (3) 研究テーマを簡潔に（50字程度）記入して下さい。

### 【2. 研究・会合実施方法等】

- (1) 各欄に指示された内容について、具体的に記入して下さい。

### 【3. 研究・会合内容等】

- (1) 「研究・会合の内容」欄は、研究・会合の内容について、具体的に記入して下さい。
- (2) 「本件他の助成状況」欄には、本研究テーマに関連して、科研費等他へ申請しているもの・採択されているものがある場合は、その内容（助成機関、制度名、助成額、課題名等）を記入して下さい。

### 【4. 所属長の承諾】

- (1) あらかじめ申請者の所属長（学長・学部長・研究科長等）の承諾を得て、所属長役職・氏名を記入し、押印して下さい。本研究所の教員が申請者になる場合は省略できます。

### 【5. 申請者研究業績】（過去5年間程度）

- (1) 共同研究に関連する主な論文について、論文名、発表誌名、巻号及び発表年月、査読の有無、を新しいものから順に記入して下さい。発表誌が電子ジャーナルの場合は DOI もしくは URL、冊子体の場合は掲載ページまで記入して下さい。印刷物は不要です。
- (2) 共同研究に関連する主な学会等の発表について、発表タイトル、会議名、発表年月を記入して下さい。プログラム等の発表情報が Web ページに掲載されている場合は URL を記入して下さい。
- (3) 論文及び学会発表がない場合は、関連業務従事歴等について記入して下さい。

### 【6. 必要経費】

- (1) 「旅費」「学会参加に係る経費」「論文投稿料等」に分けて記入して下さい。  
※上記以外の使用は認めません。

### 【7. 共同研究者】

- (1) 共同研究者欄には、本研究所の教員を含めて記入して下さい。事前に本研究所の教員と打合せ、連絡担当教員を決め、氏名の前に○印を付けて下さい。
- (2) 本研究所以外の共同研究者については、各共同研究者の所属長が当該共同研究への参加を承知していることを確認したうえで記入して下さい。

受付番号	
整理番号	

## 平成 28 年度国立情報学研究所共同研究企画申請書

平成 年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構  
国立情報学研究所長 殿

[申請者]

所属機関等住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市…		
所属機関等名称	<u>学部や部局まで記入して下さい。</u> 〇〇大学〇〇学部…		
職名	教授／研究員／…		
フリガナ	〇〇〇 〇〇〇	性別	○
氏名	〇〇〇 〇〇〇 印		年齢
電話	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
E-mail	xxxxx@xxxxxxxxx		

「平成 28 年度国立情報学研究所共同研究募集要項」に記載された条件に従って、下記のとおり研究テーマを申請します。

## 1. 研究課題および研究テーマ

区分	番号	研究課題名
<input type="checkbox"/> 戦略 <input type="checkbox"/> 会合 <input type="checkbox"/> 自由	<u>戦略のみ、 課題番号 を記入し て下さい。</u>	<u>戦略のみ、選択した課題名を記入して下さい。</u>
研究テーマ		
<u>戦略は上記課題をもとに、会合及び自由は、申請者ご自身が設定された研究テーマを記入して下さい。(50字程度)</u>		

2. 研究・会合実施方法等 記載欄及びページ数は適宜増やして構いません。

研究・会合の目的 及び 期待される効果	<u>研究・会合の目的及び期待される効果を、具体的に記入して下さい。</u>
研究・会合実施方法	<u>研究・会合実施方法について、具体的に記入して下さい。</u> <u>会合につきましては、どのような点で情報学との連携を希望するのかも記入して下さい。</u>
本研究テーマの 新規性 及び 採択後の展望	<u>本研究テーマの新規性及び採択後の展望について、他外部資金の獲得等もある場合はそれを含んで、具体的に記入して下さい。</u>

3. 研究・会合内容等 記載欄及びページ数は適宜増やして構いません。

<p>研究・会合の内容</p>	<p><u>研究・会合の内容について、具体的に記入して下さい。</u></p>
<p>本件他の 助成状況</p>	<p><u>本研究テーマに関連して、科研費等の他へ申請しているものや採択されているものがある場合は、その内容を記入して下さい。(各機関内部の助成も含みます。)</u></p> <p>助成機関 ○○○○          制度名 ○○○○          助成額 ○○○○円          課題名 「○○○○の研究開発」</p>

4. 所属長の承諾

<p>上記の貴研究所共同研究に申請することを承諾します。</p>		
<p>申請者の所属長</p>	<p>役職 氏名</p>	<p>印</p>

申請者研究業績 記載欄及びページ数は適宜増やして構いません。

通 番	業 績
	<p><u>過去 5 年間における、本研究テーマに関連する主な論文及び学会等の発表について、それぞれ新しいものから順に記入してください。</u>  <u>筆頭著者のものは通番の前に「*」をつけてください。</u>  <u>なお、論文及び学会発表がない場合は、関連業務従事歴等について記入して下さい。</u></p> <p>【論文】  <u>著者、論文名、発表誌名、巻号、掲載ページ (DOI や URL)、発表年月、査読の有無</u></p> <p>*1 ○○, ” ○○○○○の研究”, XXXXX, 1, pp.10-15, 2015/7/1, 査読あり</p> <p>2 △△, ○○, ” △△△△の研究”, XXXXX, 1, pp.10-15, 2015/1/31, 査読なし</p> <p>【学会等の発表】  <u>発表者、発表タイトル、会議名、発表年月、URL</u></p> <p>*1 ○○, ” ○○○○○の”, XXXXX, 2015/7/1</p> <p>2 △△, ○○, ” △△△△”, XXXXX, 2015/1/31, Http://xxxx.xx</p>



5. 必要経費

必要経費内訳（平成28年度）

区分	内容	数量	金額	備考
旅費				
学会 参加に係 る経費				
論文 投稿料等				
合計	<u>申請額上限は、戦略150万円、会合80万円、自由100万円です。</u>			

6. 共同研究者

本研究所の教員を含めて記入し、そのうち連絡担当教員の氏名の前に○印を付けて下さい。

本研究所の教員以外の各共同研究者について、当該共同研究に参加することを所属する長が承知していることを確認したうえで記入して下さい。

本研究所からの連絡は、原則として連絡先 e-mail 宛にお送りいたしますので忘れずに記入して下さい。行数は適宜増やして構いません。

氏名（フリガナ）	所属機関・部局等・職名	連絡先
○△△△ △△ (△△△ △△) <u>(連絡担当者に「○」)</u>	国立情報学研究所・△△研究系・ 教授	TEL : 00-0000-0000 e-mail : xx@xxxx
□□□□ □□ (□□□□ □□)	□□大学・□□部・准教授	TEL : 00-0000-0000 e-mail : xx@xxxx
▲▲ ▲▲ (▲▲ ▲▲)	▲▲会社・▲▲部・研究員	TEL : 00-0000-0000 e-mail : xx@xxxx
		TEL : e-mail :
		TEL : e-mail :
		TEL : e-mail :
		TEL : e-mail :
		TEL : e-mail :

## 平成 28 年度国立情報学研究所共同研究成果報告書

【戦略 会合 自由】型 (選択して下さい。)

平成 28 年度共同研究採択一覧研究課題番号【           】 (採択番号を記載して下さい)  
申請書内に記載されたグレーの文字は削除し、黒字にて読みやすい文字サイズで記載して下さい。  
記載欄、ページ、表は、適宜増やして構いません。

## I. 基本情報

(1) 研究代表者 (申請者)

氏名	<u>部署等まで記入して下さい。</u>		
所属		性別	
職名		年齢	<u>H28. 4. 1 現在</u>

(2) NII 教員 (連絡担当教員の氏名の前には、○印を付けて下さい。性別・年齢省略可)

氏名	<u>研究系・センターまで記入して下さい。</u>		
所属		性別	
職名		年齢	<u>H28. 4. 1 現在</u>

(3) 共同研究者 (会社員、自営業、学生等を含め、全員分を記入して下さい。)

氏名	<u>部署等まで記入して下さい。</u>		
所属		性別	
職名		年齢	<u>H28. 4. 1 現在</u>

## II. 研究・会合成果概要

平成 28 年度国立情報学研究所年報をはじめとして、各種広報物や研究内容の問合せ時に使用する  
ため、一般の方でも分かる平易な文章で記入して下さい。(300～500字程度)

Ⅲ. 研究・会合成果詳細（特に外部資金獲得に関する成果（不採択も含む）状況は必須）

図表等を挿入して構いません。PowerPoint 等スライドの添付もできますが、本文も必ず記入して下さい。（添付する場合は、Ⅲの資料であることが分かるファイル名にして下さい。）

#### IV. 発表成果

##### (1) 論文発表 (会議予稿集・報告書を含む)

枝番		査読の有無	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
論文タイトル			
著者、 共著者名			
掲載雑誌名			
巻号数、 掲載ページ	<u>電子ジャーナルの場合は、DOI もしくは URL を記入して下さい。</u>		
機関リポジト リ掲載情報	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	<u>有の場合は、DOI/URL も記入して下さい。</u>	

##### (2) 会議発表

枝番		査読の有無	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
実発表者名			
共同発表者名			
発表タイトル			
発表会議名			
会議主催者名			
会議開催日			
会議開催場所	<u>国名や州等まで記載して下さい。</u>		
発表スライド 等の Web 情報	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	<u>有の場合は、DOI/URL も記入して下さい。</u>	

#### V. 共同研究者との連携状況

##### (1) 研究打合せや研究会等の実施状況、実施場所、参加者、期日等

<u>記入方法は任意です。別途、実施後に作成した報告書等の添付に代えることもできます。</u>

##### (2) 共同研究者が代表を務める研究及び研究会等への参加状況

<u>記入方法は任意です。別途、実施後に作成した報告書等の添付に代えることもできます。</u>

VI. 産業財産権（特許等）、実証実験の実施歴、イベントの開催等

(1) 産業財産権（特許等）

出願・取得 の別	<input type="checkbox"/> 出願 ・ <input type="checkbox"/> 取得
発明者	
権利者	
種類	
番号	
出願・取得 年月日	
国内外の別	<input type="checkbox"/> 国内 ・ <input type="checkbox"/> 国外（国名：            ）

(2) 実証実験の実施歴、イベントの開催等

実施年月日	
題名	
実施内容 及び結果	
実施場所	

VI. 今後の展望

今後の展望について、共同研究の継続可否に関わらず記入して下さい。  
特に外部資金獲得のための申請状況は必ず記入して下さい。

X. 上記項目に当てはまらない活動内容について

上記項目に当てはまらない活動内容がありましたら、記入して下さい。